

クロアチア情勢

主な出来事

2018年9月

内政

- 3日、ミリノビッチ・リカ＝セニ県知事（クロアチア民主同盟（HDZ）リカ＝セニ県支部長）が、HDZ倫理委員会の決定により、HDZから除名。
- 5日、行政省は、民間IT企業のAPIS社に、2つの市民団体（「市民の決断」及び「イスタンブール条約の真実」）が国民投票を求めて収集した署名の検証を委託。
- 6日、ザグレブ県裁判所は、市民団体「家族の名において」が2013年に国民投票を求めて署名を収集した際、バンディッチ・ザグレブ市長が公共のスタンドを同団体に無償で貸し出した疑いで訴訟を開始。
- 8日、ペナバ・ブコバル市長は、10月13日に「祖国防衛戦争」中の戦争犯罪への訴追が不十分であることに対する抗議活動を行うと発表。
- 14日、プロチェ（当国南部）において、クロアチア海軍創立27周年記念式典が開催。グラバル＝キタロビッチ大統領やクルスティッチェビッチ副首相兼国防相が出席。
- 26日、汚職・組織犯罪対策本部（USKOK）は、偽装SMSメッセージ事件に関与した疑いのバルガ元内務省職員に対して、逮捕が近いことを同氏に通報したとして、農業相の現運転手であるツリッチ氏を逮捕。（本件には、カラマルコ元首相及びブルキッチHDZ副党首も関与しているとの報道もなされている。）
- 28日、野党は、議会にクンジッチ保健相に対する不信任決議案を提出。
- 28日、議会利益相反委員会は、アグロコル問題に関して、公の機関における原則を犯した等の理由で、プレンコビッチ首相及びペトロフMOST党首に対する捜査を開始。
- 28日、ザグレブ市内において、プポバツ独立民主セルビア党（SDSS）党首らに対してゴミが投げつけられる事件が発生。

外交

- 1日、ドブロブニク（当国南部）において、第13回ドブロブニク・フォーラムが開催され、プレンコビッチ首相が出席。
- 2日、クロアチア海軍のミサイル艇「ブコバル」は、NATOの「地中海におけるシーガーディアン作戦」に参加するため、スプリット海軍基地を出航。

- 3日、ソイニ・フィンランド外相は当国を訪問し、プレニコビッチ首相とペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相と会談。
- 4日、ザニエルOSCE少数民族高等弁務官は当国を訪問し、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相と会談。
- 5日、プレニコビッチ首相は、リブノ(BH西部)において、在ボスニア・ヘルツェゴビナ・クロアチア領事館開設式典に出席。
- 5日、バニヤ・ルカ(BH北部)において、南東欧協力プロセス(SEECP)外相会合が開催され、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相が出席。
- 6日、アリエフ・アゼルバイジャン大統領は当国を訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレニコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議会議長と会談。
- 7日、ヴェステアー欧州委員会競争政策担当委員は当国を訪問し、プレニコビッチ首相、ホルバット経済・中小企業相及びジャラツ地域開発・EU基金相とウリヤニク造船所の問題等について会談。
- 10日、ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領は当国を訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領と会談。
- 11－12日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は米国を訪問し、12日、ポンペオ米国务長官と会談。
- 12日、カロブリス・リトアニア国防相は当国を訪問し、クルスティチェビッチ副首相兼国防相と会談。
- 17－18日、ブカレストにおいて、第3回3海域イニシアティブ首脳会合が開催され、グラバル＝キタロビッチ大統領とチョリッチ環境保護・エネルギー相が出席。
- 18日、ブリュッセルにおいて、EU外相会合が開催され、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相が出席。
- 18－20日、ドブロブニクにおいて「16＋1」観光大臣会合が開催され、カペツリ観光相、オブリエン＝コルジネク文化相が出席。
- 19－20日、ザルツブルグにおいて、移民問題等に関する非公式EU首脳会議が開催され、プレニコビッチ首相が出席。
- 21－22日、モントリオールにおいて、女性外相会合が開催され、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相が出席。
- 24－27日、ニューヨークにおいて、第73回国連総会が開催され、グラバル＝キタロビッチ大統領とペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相が出席。グラバル＝キタロビッチ大統領は、24日にグテーレス国連事務総長と会談。26日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブルガリア・ギリシャ・ルーマニアとの4カ国外相会合及び中欧イニシアティブ(CEI)会合を主催。

●3日、ウリヤニク造船所は、ノルウェー企業 Siem Shipping との造船契約が破棄されたことを発表。

●7日、ヴァステアー欧州委員会競争担当委員は、ザグレブを訪問し、ウリヤニク造船所が提出した再建計画について協議。プレンコビッチ首相、ホルバット経済・中小企業相、ジャラツ地域開発・EU基金相と面会。

●11日、クロアチア政府、イストラ県議会、プーラ市議会は、ウリヤニク造船所の問題と造船産業の保護について協議する合同会議を開催。

●13日、マリッチ財務相は、中央政府の財政状況について閣議報告。2018年上半期における財政収支は16億クーナの黒字。クロアチアの信用格付の改善に伴う利払い費の抑制、個人消費の拡大に伴う付加価値税の増収等が背景。

●19日、ドブロブニクで第4回「16+1」観光大臣会合を開催。観光投資、医療ツーリズム、ビジネス協力等について議論。

●19日、カペツリ観光相は、中国のラク樹剛文化観光部長と会談し、観光分野の協力に係る協定に署名。本年11月にクロアチア政府観光局上海事務所を開設するほか、来年を「クロアチア・中国観光年」とすることで合意。

●20日、クロアチア政府は、税制の見直しに係る9つの関連法案を閣議決定し、クロアチア議会に提出。一部の品目に対するVATの税率引下げ、所得税率の引下げ等により、減税規模は総額27億クーナとなる見込み。

●21日、信用格付会社S&Pは、クロアチアのソブリン格付を公表。格付を「BB+」に据え置く一方、見通しについては、アグロコル社の再建計画が進展しリスクが低下したことなどから、「安定的」から「ポジティブ」に上方修正。

●25日、プレンコビッチ首相とチョリッチ環境保護・エネルギー相は、INA社のファジモン新CEOと面会し、同社の今後の経営方針、国営肥料会社ペトロケミヤの資本増強に対する同社の参加可能性等について懇談。

●26日、LNGクロアチア社は、28日に予定していたLNGターミナル施設の使用权に係る入札を12月20日に延期することを発表。

主要経済指標

(2018年月次データ、政府統計局発表)

輸出総額(7月)	輸入総額(7月)	貿易赤字(7月)	工業生産高(8月) 対前年同月比	インフレ率(8月) 対前年同月比	失業率(登録制)(8月)
609.3億クーナ 82.0億ユーロ (3.6%)	1021.0億クーナ 137.5億ユーロ (6.7%)	411.7億クーナ 55.4億ユーロ (11.8%)	-1.0% (7月:0.9%)	2.1% (7月:2.1%)	8.5% (7月:8.6%)

※輸出総額、輸入総額、貿易赤字の括弧内の数字は、対前年同月比。

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものです。記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。